

まち育て検討部会 平成22年度の成果

1. 昨年度の活動報告

(1) 開催経緯と検討内容

①第1回まち育て検討部会

【日時】平成23年1月27日(木)午後6時30分から8時30分

【場所】国立市役所地下食堂「ハーベスト」

【内容】

- ・国立駅周辺まちづくりについて
- ・意見交換とまとめ（ワールド・カフェ方式）
- ・事務局より



②第2回まち育て検討部会

【日時】平成23年2月27日（日）午後4時～6時

【会場】国立市役所3階 第1・2会議室

【内容】

- 2) - 1 まち育て検討部会としての国立駅周辺まちづくりの目標
- 2) - 2 まち育て検討部会としての国立駅周辺まちづくりの展開
- 2) - 3 国立駅周辺まちづくりを支える組織・体制

※この間に3グループでグループワークを実施

③第3回まち育て検討部会

【日時】平成23年3月13日（日）午後1時半～

【会場】NTT国立ビル1階コミュニティスペース旭通り

【内容】・グループワークの共有と意見交換

- ・アクションプランに関する意見交換

まち育ての基本的な考え方

「人」をつなぐ

- 「人」がつながるとは
 1. 言葉で交流する、挨拶したり声をかけたりする
 2. 同じ場に参加する、楽しさを共有する
 3. 優しさやもてなす気持ち伝わる

「時間」をつなぐ

- 過去～（現在）～未来
 - 過去・開発以前の国立（谷保）
 - ・国立を開発した先人の「理念」→文教都市へ
 - 現在・しょうがいしゃがあたりまえに暮らすまち
 - 未来・将来の国立住民に何を残すか
 - ・まちづくりの担い手としての「子供」

「南部と北部」をつなぐ

- 「つながっていない」ことを認識、共有しよう
- 「南北が共有できる目標」を見つける
- 北部の人の視点だけで考えない

グループ討議の成果

○国立 Bench

- ・ベンチをつくること、座ることを通して、くにたちに暮らす人たちが時代を超えて「つながる」

○国立まち・みち station

- ・外からの人を増やし、来街者と国立の「まち」と「ひと」をつなぐため、旧駅舎を情報発信機能を主とした「まちの駅」として活用する。

○国立 Toilet・プロジェクト

- ・障害者、高齢者、子育て世代が、安心して外出できるよう、何処に、どのようなトイレがあるのか、駅周辺のトイレ情報の把握・発信と駅周辺のトイレの配置について検討する。

○普段使いの図書館

- ・本・文学をきっかけとした交流を生み出す図書館、地域の小中学生が溜まれる（お金がかからず、集まって話ができる）場所をつくる。

○交流を生むまちなかイベント

- ・まちなかの空間、そこでのコミュニケーションを楽しむことができる、新たなイベントを検討する。

○くにたちものがたり お話し合い会

過去、現在、未来へー歴史・世代をつなぐ

○「時をつなぐ・人をつなぐ」 国立ツアー

○一緒にワクワクできることを見つける

○国立駅を通勤通学で通過するだけでなく、滞在時間を増やす工夫

○市民が直接話し合う場・機会をたくさんつくる

- a) すぐできること（ベンチ、ツアー、トイレマップ）の実施
- b) 検討部会を越えたしくみづくりやイベントなどについて、時間をかけて検討

「時をつなぐ・人をつなぐ」国立ツアー

例えば…

○国立駅前【JR国立駅駅長、行政職員】

：過去から現在、未来へ繋がる「出発点」としての駅。
くにたちまち育ての取り組みのお話。

○大学通りから一橋大学・兼松講堂へ

【桜を手入れをする小学生、一橋大学生】

：桜の保全、兼松講堂の復原ものがたりなど
：国立ゆかりの音楽家によるコンサートなど

○南部地域【農家方々】

：野菜の試食、即売・・・

※国立の魅力となる地域、人とつなぐツアーをまち育て検討部会で実施してみる

まち育て検討部会の役割

■ 駅周辺の機能

高架下、旧駅舎、公共施設をどのような施設にしたいか？

■ 駅周辺の公共空間の使い方

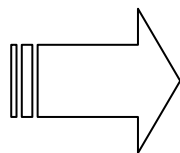
駅前広場等でどのように過ごしたいか、どのように使いたいか？

■ 施設と公共空間の維持管理・運営

上記の実現するために、どのような体制、組織を整えるか？

■ 駅周辺まちづくりの効果を促進する事業

駅周辺まちづくりの効果を高めるために、その他にどのような取り組みが必要なのか？



ハード整備等
への反映